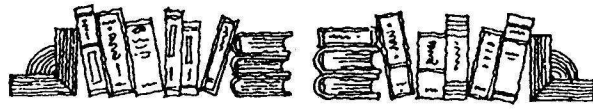


国語国文学会だより



No. 17

1997. 8

日本文学科卒業生の会

国語国文学会 春の総会・研究発表会報告

平成九年度春の総会・研究発表会を五月二十九日(木)、香雪館四〇一号室において開催いたしました。

◆第一部 総会 議事 他

(1) 国語国文学会会長挨拶

源 五郎先生

(2) 奨学金授与式

阿蘇瑞枝先生

上村悦子賞 院博士課程後期三年次 高橋由記

(3) 国語国文学会委員長挨拶・役員紹介

(学生・卒業生の会)

(4) 平成八年度活動報告・決算・監査報告

(5) 平成九年度活動計画案・予算案・監査選出

(4)(5)については、学生、卒業生より各々報告・説明をし、各案件とも審議後、承認されました。

(6) 自主ゼミ紹介・承認

◆第二部 報告・研究発表

(1) 朝顔巻を読む——源氏の心情を通して——

(学生自主ゼミ・中古) 小山 香織

・国文学との出会い

(卒業生の会) 山田佐和子

・『やみ夜』論——傀儡の他者性——

(平成八年度卒業生) 橋本のぞみ

昨年に引き続き、卒業生の会より山田佐和子さん(旧46)がゼミ(古代中世文化論)での研修報告を含めて、戦時下に学ばれたご自身の体験を、発表されました(詳細は次号)。

新一年生も昨年同様必須科目での出席となり、会場は満席、若い会員の熱気に包まれました。大会終了後、引継ぎの会を開き、秋の大会の打合せを行いました。

秋季大会・公開講演会のご案内

日時・平成九年十一月二十九日(土) 一時～
公開・総会議事につき、講演会を開きます。
講演会 講師、演題など詳細は次号で。

また、中国での研修を終えて帰国された本学助教教授谷中信一先生の講演を予定しています。

懇親会・講演会後、生協食堂ウイミンで。

* 研究発表会 午前十時～十二時

——大会・講演会・研究発表会・詳細次号——

◆右研究発表会での発表者を募集します◆

ご希望の方は、左記によりご応募ください。

(発表時間三十分、質疑十分)

・応募資格 本学国語国文学会会員

・応募方法 四〇〇字以内に発表要旨をまとめ、論題とともに申し込む。

・応募先 日本文学科研究室内「国語国文学会秋季大会研究発表者募集係」宛

・締め切り 九月二十五日(木)

・選考方法 国語国文学会において選考、結果は後日、個別に連絡する。

日本女子大学 国語国文学会

◆総会議事より◆

十月二十六日(土) 田端・王子界限

平成八年度「卒業生の会」活動報告

(1) 総務

・委員会、常任委員会の招集

・春季総会・研究発表会の開催 五月二十三日(木)

・はがき通信 五月(春の総会案内)

・はがき通信 十一月(秋季大会案内、秋季大会出欠、住所確認、「ひとこと」)

・新卒業生の方々へ、「国語国文学会だより」に添えて入会案内、振替用紙を送付、十一月

・自主ゼミの活動(四ゼミ)

・秋季大会の開催 十一月三十日(土)

・研究発表・総会・講演会・懇親会

・文学散歩 — 田端文士村を訪ねる —

(3) 会計

・会費納入の確認

・収支・運営・備品の完備など

(4) 編集

・「国語国文学会だより」十五号、十八号の発行

春の号・八月、秋の号・十一月

平成九年度「卒業生の会」活動計画案

(1) 総務

・春季総会・研究発表会の開催 五月二十九日(木)

・はがき通信 五月、十一月

・組織の強化 各回生に委員を選出する

(担当 南美枝子(旧31)・齊藤令子(6)・高野晴代(院9)・壬生幸子(院11)・小島恵子(院12)・成島知子(院21)・藤木直美(院26))

日本女子大学国語国文学会卒業生の会
平成8年度決算報告(1997. 4. 30現在)

【収入の部】

前年度繰越金	589,476
会費	667,000
寄付	20,000
利子	26,935
図書販売利益	13,560

収入合計 1,316,971

【支出の部】

通信費	221,550
文具費	26,944
コピー代	16,322
会報印刷費	121,000
新入会員名簿費	0
委員会活動費	17,513
委員会費	28,000
交通費	4,400
行事費	40,000
ゼミ費	57,000
講演会費(講演料)	27,405
大会諸経費	12,780
新会員PR費	100,000
設立準備金返済費(7回目)	0
慶弔費	0

支出合計 672,914

繰越金 644,057

上記の通り決算報告致します。

会計 安東佳代子(判) 保志美也子(判)

監査の結果、上記決算報告が正確であることを認めます。

監査 岩野ま子(判)

お知らせとご案内

『青木生子著作集』全十二巻刊行

すでにご存じのように、前学長青木生子先生の著作集がおうふうから刊行されます。第一巻の発行開始は十一月、青木先生が七十七歳・喜寿のお誕生日を迎えられる月です。二つのお慶びを祝って、会が開かれます。

青木生子先生の喜寿を祝い
出版を記念する会

日 時 平成九年十一月二十四日(振替休日)

正午〜午後二時 十一時より受付

場 所 ホテル・オークラ 曙の間

会 費 一万三千元

(郵便振込 〇〇一九〇一四〇二二七二)

青木生子先生の喜寿を祝う会

申込締切 九月末日

安藤武子宛(新5回)にご連絡を

☎ 〇四六七一三三・五九九七

お誘い合わせの上、どうぞご参加くださいませう。なお、青木先生が学長ご退任の折の会の名簿により、一部ご案内致しておりますが、皆さまのご参加をお待ち申し上げております。

(2) 企画

- ・自主ゼミの設立
- ・秋季大会の開催

研究発表・総会・公開講演会・懇親会

- ・文学散歩の実施（十月二十五日（土）*下段）
- ・談話会の企画・実施

〔担当〕 児玉久美子（旧46）・立川和子（1）・新妻佳珠子（院6）・土橋ユリヨ（31）・平山静

(3) 会計

- ・会費納入への協力依頼
- ・活動充実のための備品の整備・購入

〔担当〕 安東佳代子（4）・保志美也子（12）

(4) 編集

・「国語国文学会だより」の発行

春の号・八月、秋の号・十一月

・会員名簿の発行

〔担当〕 田中基子（9）・中里トキ子（院2）

〔会計監査〕 岩野圭子（院5）・荻窪昭子（院12）

平成九年度研究サークル

○平安文学談話会（平安文学に関する研究）

金曜日 午後五時半または土曜午後二時（年四回）

日本文学科研究室

・高野晴代 ☎〇三（三三七〇）六八〇六

○皇女研究会（皇女総覧平安朝篇の作成）

毎月第一土曜日 午前十時半

大学図書館共同研究室

・柳澤理恵子 ☎〇四五（八四一）

六五二五 楠木方

○古代中世文化論（中世の芸術論）

毎月第四月曜日 午後一時半

日本文学科資料室四二六

・山田佐和子 ☎〇三（三九七

二）四八四三

○中島斌雄先生の俳句を読みながら

毎月第三土曜日 午後二時

中島斌雄先生宅

・綾野道江 ☎〇四四（九六八）

五四二五

参加ご希望の方は、各サークル代表者に随時お申し込みください。

◆文学散歩へのお誘い 10月25日（土）◆

―隅田川の文学の舞台を訪ねる―

王朝の在原業平から昭和の永井荷風まで――少々大げさなテーマですが、久保田淳著『隅田川の文学』（岩波新書 96・9・20日発行）をテキストに、墨堤散策を企画しました。

隅田川のシンボル・浅草観音、「花」の歌碑に敬意を表することから始めます。とくに「花」の作者武島羽衣氏は、長年日本女子大学の教授。記念碑も教え子を中心となって建立されたものです。

対岸に渡り、木母寺、長命寺、弘福寺等々を訪ね、柳浪、鵜外、露伴、文、堀辰雄、晩年吾妻橋に執着した永井荷風などの文学の世界にふれたいと思います。〈新妻佳珠子記〉

・日 時 10月25日（土） 午前10時30分

・集合場所 浅草観音雷門前

・所要時間 約五時間

・費用 昼食代約二千元

・連絡先 企画係・平山静

（03・5398・3701）

・申し込み 10月16日～22日

平山まで 夜間にお電話を

*お知らせ

・振替用紙を同封いたしました。本年度会費の納入を、よろしくお願い申し上げます。

・住所変更の節は、ご連絡ください。

研究室だより

○今年は別項のように、新しい先生をお迎えしました。日本文学科というイメージも実態も少しずつつ変わりつつあります。良き伝統を残しながら、脱皮をつづけることが、この数年の課題となりましょう。よろしくご指導とご協力のほどを。

○本年度は、田中功先生をお迎えしました。田中先生のご専門は、図書館情報学です。

○昨年度海外研修で、中国へ行かれた谷中信一先生は、元氣にお帰になりました。

○今年度は、佐久間まゆみ先生が、国内研修でいらっしやいます。

○他の専任の先生方は、昨年と変わりありません。

阿蘇瑞枝先生（上代文学）

後藤祥子先生（中古文学）

麻原美子先生（中世文学）

浅野三平先生（近世文学）

倉田宏子先生（近代文学）

高橋智子先生（近代文学）

清水康行先生（日本語学）

藤原浩史先生（日本語学）

谷中信一先生（中国思想史）

田辺和子先生（外国人留学生特別科目）

源五郎（近代文学）の十一名です。

助手さんは、昨年と同様、白石美鈴さん、植田恭代さん、溝部優実子さんです。

○非常勤の助手さんは、八木京子さんです。

○国語国文学会の担当は、倉田先生、藤原先生、溝部さんです。

（日本文学科科長 源記）

「変わる司書資格科目」

（○新任の田中先生にうかがいました）

田中 功

昨年八月に省令科目が改定されたのに伴い、図書館司書科目を開講している大学では、カリキュラムの改定に取り組んでいます。本学でも来年度より新カリキュラムの開講に向けて文部省へ申請をし、認定を受けることになりました。

省令科目とは「図書館法施行規則」という文部

〔表1 以前の科目〕

群	科目	単位数
甲 群	図書館通論 図書館資料論 参考業務 参考業務演習 資料目録法 資料目録法演習 資料分類法 資料分類法演習 図書館活動	2 1 2 1 2 1 2 2 2
乙 群	青少年の読書と資料 図書及び図書館史 図書館の施設と設備 資料整理法特論 情報管理	1 1 1 1 1 1
丙 群	社会教育 社会調査 人文科学及び社会科学の書誌解題 自然科学と技術の書誌解題 マスコミュニケーション 視聴覚教育	1 1 1 1 1 1 1

省令によって、定められた司書資格取得のために必要な科目のことです。

ではこの必要な科目はどのように変わるか、左の表で示しました。科目名は一新され以前の科目はほとんど残っていません。特に、新しい時代の図書館にふさわしい人材を養成するために、コンピュータを使い情報を検索する科目、図書館を経営的な視点で考える科目などが、加わったことは大きな特徴といえるでしょう。

〔表2 新しい科目〕

群	科目	単位数
甲 群	生涯学習概論 図書館概論 図書館経営論 図書館サービス論 情報サービス概説 レファレンスサービス演習 情報検索演習 図書館資料論 専門資料論 資料組織概説 資料組織演習 児童サービス論	1 2 2 1 2 1 1 2 2 1 2 1
乙 群	図書及び図書館史 資料特論 コミュニケーション論 情報機器論 図書館特論	1 1 1 1 1 1

一九九七年八月三十日

発行・日本女子大学日本文学科

国語国文学会卒業生の会